

町道220号線^(※1)の 安全対策は



月田 均



町長

信号機設置は 状況を把握し検討

質問 町道220号線の安全対策についてどのように考えているか。

答弁 町長 道路の完成後は優先道路が東西から南北に入れ替わることになるが、優先道路が入れ替わるまでは、4方向とも一時停止とする。

信号機設置については、警察から現在の交通量では設置しないとの回答があったが、今後交通量の増加が見込まれるため、状況を把握し、地元と協議し、設置申請を検討していきたい。

ストレッチトレーニングの実施を

質問 町の健康体操に筋トレだけでなく、ストレッチングを組み込む計画はあるか。

答弁 町長 現在ストレッチングは理学療法士の資格を持った職員が地区へ伺い訪問指導を行っているが、参加者から大変好評を得ている。健康維持に有効と考えるので、どのよう

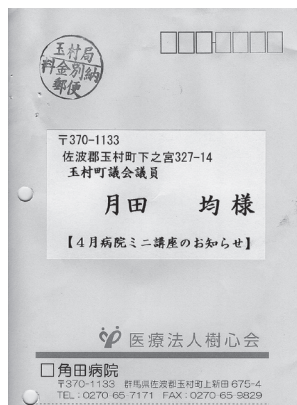
な形で推進していけるかを引き続き研究していく。

病院ミニ講座の案内は適切か

質問 町内医療機関から講座への参加案内が議員に送られてきたようだが、町はどう把握しているか。

答弁 町長 角田病院が昨年からは始め、地域福祉に関係する方々へも周知したいとの意向から区長・民生児童委員・議会議員へも本年5月から連絡を始めたと聞いている。町でも健康増進・介護予防などに役立つと考えている。

質問 町の公的な仕事をする人に一医療機関から案内が



病院ミニ講座

送られてくる。このことに違和感を持つ人もいるが、町はどう考えるか。

答弁 総務課長 公開名簿を使い、地域の医療機関が健康を目的にする講座なので、問題ないかと考える。

質問 地域健康講座の案内を区長会や民生児童委員の会議で行っている。公的機関や大学が行う講座と違い、一医療機関が実施する講座を、町が公的会議の場で案内することが妥当かどうか。もっと慎重になるべきと思うが。

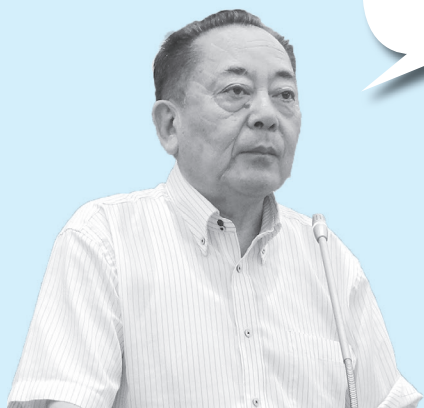
答弁 総務課長 医療機関の地域貢献活動の一つと考え、協力できるものは協力したい。

こんな質問もしています

・景観条例制定に向けての進捗を問う

※1 町道220号線とは
国道354号下之宮交差点から南へ約1.5キロメートル旧国道354号までの道路。

教員の多忙化 解消策を示せ



石川 眞男



教育長

「行事を持たない期間」等を 推進

質問 小学校教員の3割、中学校教員の6割が「過労死ライン」に達する長時間勤務という。玉村町の現状はどうか。

答弁 教育長 文科省調査によると、勤務時間は、平日で小学校教諭11時間15分、中学校教諭11時間32分で、玉村町の学校も同様の傾向にある。

質問 教員が子どもたちと向き合う時間が少ないと、教育の質が落ち、将来、教員になりたいと思う子どもも減りかねない。多忙化解消策はあるか。



教員の負担軽減でよりよい教育を

答弁 町長 3歳児健診では、258名が受診し、72名に要観察の判定が出た。「すくすく教室」や「のびやか発達相談」を行い、関係機関と密に連絡を取りながら対応して

答弁 教育長 群馬県教育委員会「行事を持たない期間」に合わせて7日間の一斉休暇、授業時間軽減日や定時退勤推進日の設定、有給休暇取得の推進をし、校務管理システムの導入により業務の軽減を図っている。

また平日のノー部活動デーや定期テスト前の部活動中止期間の設定などを実施している。

発達障がいを持つ子どもへの対応は

質問 3歳児健診等で心身の発達に障がいがあると認められる子どもは、どの程度発見できるか。その対応として、児童発達支援センター等の設置は考えていないか。

答弁 町長 3歳児健診では、258名が受診し、72名に要観察の判定が出た。

「すくすく教室」や「のびやか発達相談」を行い、関係機関と密に連絡を取りながら対応して

いる。

児童発達支援センターについては玉村町障がい者総合支援協議会で検討している。

「玉村町版生涯活躍のまち」^(※1)について

質問 都会からの移住受け入れわたり、計画は慎重にすべきと考えるが。

答弁 町長 9月末までに、東京圏や群馬県在住者の転職・移住に関するニーズ調査などを実施し、住み替え支援の検討を11月末までに行う。医療介護従事者との連携に関する検討を1月末までに行い、今年度中に事業計画を策定する予定だ。

※1 玉村町版生涯活躍のまちとは
ファミリー層からシニア層までの幅広い年齢層に対応する玉村町独自のCCRC構想。健康時から介護時まで継続的にケアを提供する共同体を「CCRC」といい、国は日本版CCRCを「生涯活躍のまち」と名づけ、地方創生の柱としている。